

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	専修大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	センシュウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	社会活動
	学部・研究科等名	法学部
	担当教職員名・役職	岡田 憲治 教授二本柳 高信 准教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	14
	受入企業等数	11
受入企業等名	新宿区役所・千代田区役所・港区役所・今村記念法律事務所・司法書士法人 大城節子事務所・行政書士・税理士 常任事務所・伊藤浩行政書士事務所・公益社団法人 日本フィランソロピー協会・東日本住宅株式会社・株式会社矢野経済研究所・山崎製パン株式会社	
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	様々な業務を体験することで、大学で学ぶ「法律」や「政治」等にかかわる学問がどのように生かされているかを識ることができ、大学での学修にフィードバックすることができる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次・4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	専門教育課程の選択科目の1科目であり、履修登録の前に説明会を実施し、前期科目として開講している。インターンシップは夏期休暇期間内に実施される。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	受入先の担当者に評価表を記入していただき、教職員で情報を共有している。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習では、志望業界に関するプレゼンテーションと講評(第2・3・4回)や外部講師による講演(第6~8回、12・13回)を行い、志望業界への理解を深めている。また、外部講師によるビジネスマナー講習(14・15回)では、職場での基本マナーから、言葉遣いや心構えなどを学習している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ後、担当教員と報告書を基に報告会を行い、自身の経験を振り返ると共に、インターンシップが今後の学習や大学生活にどのように生かせるかを発表し、意見交換をしている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	受入先の担当者に評価表を記入していただき、教職員で情報を共有している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	報告書の作成
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ後、報告書を作成させ、インターンシップ前の学生の意識や行動の変容について報告会で確認を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間14日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期休暇期間中の、受入先に指定された期間で10日~14日間で実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先の担当者に評価表を記入していただき、成績評価の参考資料にしている。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	「社会活動」 https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/sbssbdr.do?value(risyunen)=2018&value(semekikn)=1&value(kougicd)=20506&value(crclumcd)=
問い合わせ先	大学等名	専修大学
	担当部署名	神田教務課
	担当者役職名	一般
	担当者氏名	梶川 陸人
	電話番号	03-3265-5843
	メールアドレス	kyomukan@acc.senshu-u.ac.jp